

9月1日は「防災の日」

# 地震災害から 身を守るためには

～安全対策と避難行動～ 危機管理課危機管理係 ☎(63)2158

「防災情報伝達アプリ」に登録しましょう。(→26ページへ)

- ・地震情報
- ・大雨土砂災害情報
- ・避難情報 等



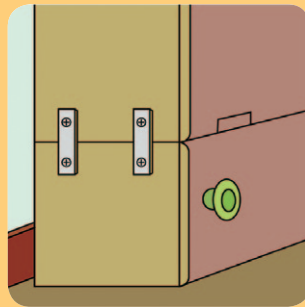
## ①地震災害から命を守るためには

地震は前触れもなく突発的に発生します。大地震が発生してから対策をとっても間に合いません。皆さんや皆さんの大切な人の命を守るためには、家の中を一番安全な場所にしておく必要があります。

### POINT 1 家具は固定されていますか？



▲L字金具で固定  
壁裏の柱の位置を確認してからネジ留めしましょう。

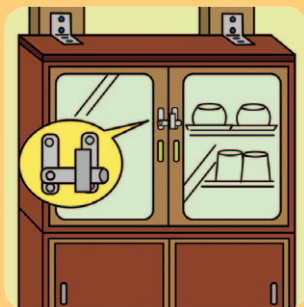


▲連結金具で固定  
二段重ねの家具の場合は、上下の家具を連結しましょう。



▲ポール式で固定・マット式も天井に強度が必要です。強度がない場合はL字金具で固定しましょう。マット式なども併用することで強度が高まります。

### POINT 2 家具内の収容物やガラスが割れたり、物が落下したりする危険はありませんか？



◀扉開放防止器具で固定  
器具には留め金式、ロック式など、さまざまなタイプがあるので、使いやすさと安全性が両立したものを選びましょう。



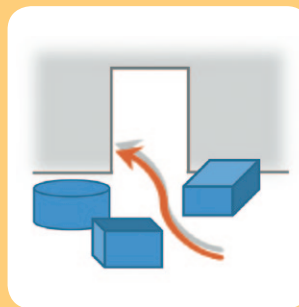
◀高いところに物を置かない  
置く場合は落下防止対策をしましょう。

◀飛散防止フィルムで防ぐ  
ガラスの飛散や、棚の収容物の飛び出しを防ぎましょう。ガラスの両面に貼ると効果が高くなります。

### POINT 3 家具が倒れても安全が確保できる状態になっていますか？



◀余裕のある家具配置  
寝ている位置に倒れないように家具を配置し、安全な空間を確保しましょう。



◀避難経路を確保  
家具が倒れてもドアが開くように避難経路を確保しましょう。

## ②地震が発生したときの避難行動

大地震が発生しても慌てず、落ち着いて冷静に行動することが重要です。災害時には、一瞬の判断が生死を分けることもありますので、いざというときのための避難行動を覚えましょう。

### 緊急地震速報

緊急地震速報が携帯電話やテレビなどから流れてきたら…



◀ ドアを開けて避難経路を確保しましょう。



◀ 揺れ出す前に、素早く火の始末をしましょう。

※火元から遠い場合、急いで火を消そうとすると、熱したやかんや鍋などをひっくり返してしまう危険もあります。無理をせず、揺れが収まってから火を消しましょう。

### 地震発生



◀ 机の下に隠れるなど、自分の身を守りましょう。



◀ 建物や塀、電柱などから離れ、手荷物などで頭を守り、広い場所へ移動しましょう。

### 地震発生直後

揺れが収まったら…



◀ 家の中にいる家族の安否を確認し、非常持出袋を用意するなど、避難の準備をしましょう。



◀ 火災が発生した場合は、大声で知らせ、協力して初期消火をしましょう。

### 避難所へ

避難所へ向かう前に…



◀ 二次災害を防ぐため、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切ってから家を離れましょう。



◀ 近隣の一人暮らしの高齢者世帯や支援が必要な世帯に声を掛け、できるだけ地域で協力して、一緒に避難所へ向かいましょう。

## 住宅の耐震補助制度を拡充しました(木造住宅の耐震化)

建築指導課建築指導係 ☎(63)2242

市では、安全な住まいづくりのため、昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅を対象に耐震診断・耐震改修(補強計画策定を含む)・建て替えによる木造住宅の耐震化を促進するための補助を行っています。令和2年度から耐震改修および耐震建替えの補助額を増額しました。

耐震診断	費用の3分の2以内かつ2万円以内
耐震改修・耐震建替え	費用の5分の4以内かつ100万円以内 ※県産出材(「栃木県産出材証明制度」等)に基づき、栃木県内の森林から産出されたことが証明された木材)を10㎡以上使用した木造住宅に建て替えるときは、10万円が上乘せ

職員が住居を訪問し、目視で外観や壁の配置を確認する簡易的な耐震診断を無料で行っていきますので、併せてご相談ください。



※詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。